

9つのラボの1,000以上のアセットを  
スケジュールどおり、かつ予算内で  
完全に稼働を再開した移設事例

Agilent  
CrossLab

From Insight to Outcome

カスタマースポットライト：Alnylam Pharmaceutical社は  
マサチューセッツ州ケンブリッジに本拠を置き、遺伝性疾患の  
RNA 干渉治療薬に注力する企業です。

移設、つまり機器を含むラボ施設全体の物理的な移動は容易ではありません。マサチューセッツ州ケンブリッジの Alnylam Pharmaceuticals社での事例です。同社は先頃、手狭になったラボスペースから9つのラボグループを移設しており、これには1,000以上のアセットと小さな備品1,500箱以上が含まれていました。この規模の移設は多くの企業にとってもつたに生じるものではなく、そのため、必要な経験、知識、スキルを社内で行っていることは非常に稀です。計画やリスク評価といったスタート位置に立つだけで、移設の任務についた担当者は途方にくれることでしょう。したがって、このような移設を監督する担当者は多くの場合、OEM、地域の引っ越し業者、専門のプロジェクト管理会社のような外部リソースに頼ることになります。

これがまさに、Alnylam社の施設運用ディレクター兼プロジェクトスポンサーの Daniel O'Connell氏が直面した状況です。同氏の移設ニーズは一般的なものでした。すなわち、ラボ全体の適切な移設と再設置を一任できる費用対効果の高いソリューションを求めています。同時に、非常に多くの人に影響するため、ダウンタイムを可能な限りの最小限に抑えなければなりません。O'Connell氏は、これらのニーズや利用可能なサービスのオプションを勘案し、この移設に最もうまく対応できるプロバイダーはアジレントであると判断しました。

アジレントのプロジェクトマネージャは、昨年だけでも数千の移設を実施しており、広範な準備があつてこそスムーズな移設ができることを理解しています。アジレントは移設プロセスを開始するにあたり、資産目録の作成、移設元と移設先への訪問、元の場所と目的地の両方における多数のリスク評価に着手しました。70を超える固有の潜在的リスクと、各リスクに付随する偶発的事象を特定しました。O'Connell氏は次のように述べています。「アジレントの仕事は実に見事で、素晴らしい計画を立ててくれました。移設について考えられるすべてのことを、アジレントは捉えていました。エレベータの問題、荷物の積み下ろし場を利用できるかどうかなど、ありとあらゆるものです。不測の事態に備えていなければ、これらの懸念事項の多くが実際に大きな問題となっていたでしょう」

#### Alnylam 社の移設成功事例

- ✓ 予算を9%下回る移設総費用
- ✓ 9つのラボの移設
- ✓ 1,008の研究アセットの移設
- ✓ 160人のスタッフ（および所持品）の移動

「見積もりプロセス中、アジレントの見積もりの  
透明性に非常に感銘を受けました。プロジェクト  
が始まる前に、アジレントは、私達が探している  
ものを理解し、非常に大きな価値を私達に  
もたらしてくれたことは明らかです」



**Daniel O'Connell 氏**  
アソシエートディレクター  
設備運用担当

リスク評価以外にも、Alnylam 社がアジレントの標準プロセスから得たメリットがあります。O'Connell 氏とそのチームが明確な理解と確信を持てるよう、アジレントのプロジェクトマネージャは Alnylam 社と毎日報告会を持ちました。これにより、パートナーを取り巻く詳細から、ベンダー、アセットまで、移設の状況全体についての透明性が確保されました。移設プロジェクトマネージャが見てきたように、こうした小さな要因に移設の進行を妨げる力があります。例えば、アジレントは、機器の取り外しとともに化学標準物質の輸送を手配しました。このことは重要でないように思えるかもしれませんが、これらの標準物質は、多くの場合、取り外しと再取り付けのプロセスの一部として必要になります。残念ながら、化学標準物質は大型機器よりも前に梱包されて移送されることが多いため、取り外し時に問題を招きます。移動前の確認と移動後の性能評価により、アジレント製の機器だけでなく、移動したアセットすべてが移設後に適切に機能することを確認しました。引越業者、請け負業者、他のすべてのサプライヤーが管理され、新しい施設ではアセットが到着する前に正常に稼働できる状態が整っていました。

多様なメーカーの 1,000 を超える研究アセットに加えて、1,500 箱分の小さな備品や材料を伴うこのプロジェクトには、共同チームが必要でした。移設全体を通して、Alnylam 社は 41 人を投入し、アジレントからは 21 人が参加し、さらに 100 以上の請け負業者が作業しました。「大規模な作業でしたが、とても良かったのは、プロジェクト全体に対応するプロジェクトマネージャが 1 人のみだったことです。例えば、電気技師のような人との間に問題がある場合、アジレントに伝えると、引き受けて対処してくれます」と O'Connell 氏は話します。

標準的な移設ニーズに加えて、Alnylam 社の移設には独自の課題が伴いました。吹雪のような外部の力によって高い柔軟性が要求されたため、荷物の積み下ろし場での雪かきといった変更や、新しい一時的なワークフローを追加することで、遅延を防ぎました。冷凍された物質や有害物質の搬送、エンドユーザーとのコミュニケーション、防爆仕様の部屋に必要な収容能力の確保が、初期の懸念となりました。これらの障害の特異性を考えれば、至極当然な話です。こうしたニーズには適応性や柔軟性が求められ、移設計画に即座に取り入れられました。一方で、移設の基本的な部分では細部まで鋭い注意深さが要求されます。結局のところ、例えばアセットの電源が新しいラボのコンセントと合わない場合、新しいスペースは役に立ちません。アジレントの移設前検査で、まさにこの問題を明らかにして、費用のかかる移設後のダウンタイムを防ぎました。

アジレントは Alnylam 社が求めていたとおりのものを提供しました。すなわち、プランニングから再設置までのダウンタイムの最小化に重きを置き、完全に管理された移設です。O'Connell 氏は次のように語ります。「アジレントが行う移設のすべての段階に価値があると実感しました。プロセスのひとつひとつが適切に実施されました。まさに、可能な限り最高の経験と成果を提供することに重点が置かれていました」最終的に 1,008 のアセットを移動しましたが、アジレントは Alnylam 社がサービスプロバイダーに支払う費用を 12 % 抑えるとともに、プロジェクト全体のコストを 9 % 低減することができました。移設サービスとは別に、アジレントは資産管理プログラムによって、契約の統合、費用プランニング、オンサイトエンジニアを提供し、Alnylam 社からの信用を深め、節約を推進し続けています。

Alnylam 社の企業目標と製品の詳細については、次のページをご覧ください。[www.alnylam.com](http://www.alnylam.com)

アジレントのターンキー移設サービスの詳細について、または予定されている移設についてのご相談は、こちらをご覧ください。

### [アジレントの移設サービス](#)

ホームページ

[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

カスタムコンタクトセンター

**0120-477-111**

**[email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)**

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社  
© Agilent Technologies, Inc. 2021  
Printed in Japan, February 20, 2021  
5994-3083JAJP  
DE44237.3329282407